

福岡市総合図書館 映像ライブラリー NEWS



特集

■シネマパラダイス〜映画の魅力〜 6月29日(土)〜7月12日(金)

特別企画

■韓国映画祭 第1期黄金の80年代 7月13(土)〜7月28日(日)

主催 福岡市総合図書館・韓国映画祭実行委員会・朝日新聞社



'96
JUNE 6
JULY 7

シネマパラダイス～映画の魅力～

映像ライブラリーの収蔵作品の中からアジア映画10本、日本映画10本を上映。いずれも時代や国を越えて鑑賞できる傑作・秀作ぞろいです。

会 期：6月29日（土）～7月12日（金）

7月1日、7月8日は休館。7月7日、7月9日は映画の上映はありません。

観覧料：500円（大人）400円（大学生・高校生）300円（中学生・小学生）
定員・各回入替制。チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

上映作品

6月29日（土）14:00

羅生門

1950年 モノクロ 87分 大映

監督：黒澤明



黒澤明の名作世界に知らしめた歴史的な傑作。芥川龍之介の「藪の中」に手を加え、原作とは違った世界を作り出していく。米アカデミー特別賞（最優秀外国語映画）、ベネチア映画祭金獅子賞受賞。

6月29日（土）19:00

李蓮英・清朝最後の宦官

1990年 カラー 106分 中国・香港

監督：ティエン・チュアンチュアン



女帝・西太后に仕え、その専横の黒幕として焼かれることの多い宦官・李蓮英。彼を冷徹な人物としてではなく、むしろ保身のためにオペンチャラを言い続けた気弱な人物として描き、中国の伝統を痛烈に批判した傑作。

6月30日（日）11:00

希望の行方

1990年 カラー 135分 インド

監督：サイー・バラージパー



貧困のため都会に出稼ぎに出た男と残された家族。出稼ぎ先にある呼び寄せたことにより起こる悲劇。悲劇ながらもユーモラスに描きながら、問題性もつかりと見据えた女性監督による現代インド映画の秀作。

6月30日（日）15:00

鉄腕投手・稲尾物語

1959年 モノクロ 95分 東宝

監督：本田猪四郎



西鉄ライオンズ黄金時代の立役者、稲尾和久の半生を稲尾自身の主演、「ゴジラ」で有名な本田猪四郎の監督で描く。尚親役の志村喬、浪花千恵子などが脇を固め、当時のライオンズの選手も多数実名で登場している。

7月2日（火）14:00

無法松の一生

1943年 モノクロ 80分 大映

監督：稲垣浩



北九州の小倉を舞台に、博打好きで職師の早稲川平次。松五郎の生涯を描く。岩下俊作の原作を伊月野作が脚本化。病床の伊月が代わり稲垣浩の監督し映画化した。その後数度再編された中、最も古いバージョン。

7月2日（火）19:00

上海假期

1991年 カラー 100分 台湾・香港

監督：アン・ホイ



上海で一人暮らしの老人が、アメリカ育ちの孫をしばらく預かることになる。アメリカ育ちの少年にとって中国は驚くべき世界。アジアフォーカスで好評を博した心温まるヒューマンドラマの秀作。

7月3日（水）14:00

十字路

1937年 モノクロ 110分 中国

監督：シェン・シーリン



大学を出たが就職難の青年たちと過酷な状況で働く女子労働者達が、互いに励まし合いながら生きていく姿を描く。深刻な内容ながらもタッチで描きつつもイタリアン・ネオレアリズモの雰囲気さえ漂っている。

7月3日（水）19:00

地獄門

1953年 カラー 88分 大映

監督：衣笠貞之助



平家盛の時代、満盛の留守中平家盛が都で乱を起す。盛は上皇とその妹の身代わり、装束の警備を任され、無事任務を果たすが、アカデミー衣装デザイナー・特別賞（最優秀外国語映画）、カンヌ映画祭グランプリ。

7月4日（木）14:00

殺陣師段平

1950年 モノクロ 104分 東映映画

監督：マキノ雅弘



長谷川幸延の原作を黒澤明が脚色し、マキノ雅弘が監督した殺陣師段平「本朝」。創立当時の新国劇、リアリズムに徹した殺陣の傑作。時代の変化の中で「殺陣」に生きた男・市川段平の半生を描く。

7月4日（木）19:00

サイクリスト

1989年 カラー 83分 イラン

監督：アーレザ・ガリンドスト



アフガニスタン難民の初老の男が、病気の妻のために一週間に一度同じ場所を自転車でぐるぐる回るといふ過酷な見聞に出る。難民の苦悶に満ちた生活を描き、見るものを引き込んでいく。

7月5日（金）14:00

ブアンとベン

1983年 カラー 129分 タイ

監督：チュート・ソンスイ



1930年代のタイの農村を舞台に、美しい姉妹と姉の夫によって殺されかけた愛恋。監督のチュート・ソンスイはタイ映画の巨匠であり、この映画でも村の古い慣習と親愛の感情で葛藤する姿を見事に描いている。

7月5日（金）19:00

王将

1948年 モノクロ 93分 大映

監督：伊藤大輔



将棋の鬼才・坂田三吉の棋壇にかけた半生を描く。古戦場の方針で、時代劇の製作が禁止された監督の伊藤大輔が舞台劇を自ら脚本し、坂田三吉が「無法松の一生」に勝るとも劣らぬ好演を魅せた人間ドラマの傑作。

7月6日（土）14:00

東京物語

1953年 モノクロ 136分 松竹

監督：小津安二郎



黒澤明、溝口健二と並び日本を代表する映画監督の小津安二郎の最高傑作。地方から上京した老夫婦が、成人した子供達を頼り上京してきたが、淡々とした語り口と映像によって描かれる戦後日本の家族の姿。

7月6日（土）19:00

北京オペラブルース

1986年 カラー 105分 香港

監督：ツイ・ハーク



つぎつぎにヒット作をものに、「香港の名伶」の賞名を誇る傑作の代表作。辛亥革命後の中国を舞台に、政府軍の軍需品を運ぶと、政府軍の財宝を運ぶとアップテンポに繰り広げられる娯楽性溢れる傑作。

7月10日（日）14:00

おせっかいはNO 愛はOK

1993年 カラー 98分 韓国

監督：キム・ユジン



ソウルの小学校を舞台に、野球チームを作ろうと奮闘する小学生達の姿を描く。熾烈な受験戦争、無理難題の大人の姿、無理解な大人達の中で小さな夢の实现のため、一生懸命努力し実現していく子供達の姿は、生き生きとして印象的である。

7月10日（水）19:00

幕末太陽伝

1957年 モノクロ 110分 日活

監督：川島雄三



源流の「源流り平次」ほか数作をベースにして、幕末の島根藩を舞台に高杉晋作が実在の人物・事件をそこに絡めており、一種独特のロマンチックな世界を構築している。川島雄三の代表的傑作時代劇。

7月11日（木）14:00

飢餓海峡

1965年 モノクロ 183分 東映

監督：内田吐夢



内田吐夢が晩年の十年間に唯一残した現代劇であり、戦後映画史を代表する力作。昭和22年の青函連絡船沈没事故に基づき、数千人の難民に苦しめられながら生き延びるため罪を犯す男と、事件の真相を暴く刑事の執念。

7月11日（木）19:00

ウェディングバンケット

1993年 カラー 102分 台湾

監督：アン・リー



台湾からアメリカに帰化した、同性愛の恋人がいる男性が台湾の両親を安心させるため、上海の女友達と偽結婚する。それを聞いた両親は結婚を盛大に祝うが、結婚披露宴を企画するが、

7月12日（金）14:00

女神

1934年 モノクロ サイレント 79分 中国

監督：ウー・ヨンカン



映画美術出身のウー・ヨンカンの監督第一作。子供のために娯楽に身を落とすながらも、強く生きようとする女性の悲劇を当時の中国の人情を巧みに描き、伝説的な演技で熟練。美しいシーンが随所にちりばめられた名作。

7月12日（金）19:00

蒲田行進曲

1982年 カラー 109分 松竹・角川

監督：深作欣二



同名戯曲を原作のつかこうへい自身が映画用に脚本化し、深作欣二の監督で映画化。演劇のややうな意味な人物設定をうまく活かし、しながらつづきの世界を見事に映画化しており、人情喜劇の傑作として仕上がっている。

地域上映ネットワーク会議

「地域の映画祭・映画上映を考える」

会 期：7月18日（木）

観 覧 料：無料 開場は開演の30分前

13時30分～基調講演

15時～ パネルディスカッション「国際文化交流事業としての映画上映の現状」（仮題）

「文化交流事業としての映画上映の重要性」（仮題） 高野悦子（岩波ホール総支配人）

パネリスト：アジアフォーカス福岡映画祭事務局 国際文化交流推進協会 国際交流基金アジアセンター
なみおか映画祭 広島市映像文化ライブラリー

※この企画は全国の自治体の文化担当者の会議として開催されるものですが、一般の方の参加も可能です。参加希望者の方は福岡市総合図書館映像資料課宛復ハガキで参加申込を行って下さい。参加希望多数の場合は抽選をおこないます。

韓国映画祭1946 ▶ 1996

知られざる映画大国 第1期 黄金の80年代

1980年代に世界に躍り出た韓国映画の巨匠たち、イム・グォンテク、イ・チャンホ、ペ・チャンホの代表作などをまとめて一挙公開。

会 期：7月13日(土)～7月28日(日)

7月15日、7月22日は休館。7月23日は映画の上映はありません。

観覧料：1,000円(当日1回券) 800円(前売り1回券) 3,500円(5回券) 4,000円(5回券パーティ付) 6,000円(10回券パーティ付)

定員・各回入替制。前売り券は市内チケットぴあ、有名プレイガイドにて発売。5回券、10回券はチケットぴあのみ発売。

14日(日)のシンポジウムは無料。

上映作品

7月13日(土)14:00/7月26日(金)16:30

風吹く良き日

1980年 カラー 113分
監督：イ・チャンホ



田舎からソウルに出てきた3人の若者の彷徨を描き、韓国ニューウェーブの到来を告げた記念碑的作品。安聖基はこの作品でスターにのし上がった。

7月13日(土)/7月17日(水)16:30

キルソドム

1985年 カラー 101分
監督：イム・グォンテク



朝鮮戦争で離散した家族の問題に迫るイム・グォンテクの力作。戦争の混乱で別れた男と息子を探しにいく中年女性を韓国の大女優金芝美が熱演している。

7月13日(土)/7月25日(木)19:00

ディープ・ブルーナイト

1984年 カラー 93分
監督：ペ・チャンホ



夢を抱いてアメリカに渡ったホビンは、専断結婚を専門として生きる韓国女性ジューンと出会う。オールアメリカロケでアメリカン・ドリームを描いた傑作である。

7月14日(日)12:00/7月19日(金)19:00

曼陀羅

1981年 カラー 105分
監督：イム・グォンテク



人間の苦悩を抱えつつ、仏教の真理を求めてさまよう2人の弾指を描いた韓国映画の傑作。ベルリン国際映画祭審査員特別賞を受賞。

7月17日(水)14:00/7月28日(日)10:30

アダダ

1987年 カラー 118分
監督：イム・グォンテク



1920年代の日本統治下の田舎を舞台に、ろうあ者の美しい娘、アダダが巻き込まれる過酷な運命を重厚なタッチで描いた作品。アダダを演じた申恩秀はモントリオール映画祭で主演女優賞を受賞。

7月17日(水)19:00/7月24日(水)16:30

シバジ

1986年 カラー 95分
監督：衣笠貞之助



利氏朝鮮の末期、跡継ぎの生まれない名家の夫婦のために代理母(シバジ)をあてがう制度があった。シバジを熱演した姜受延はベネチア映画祭で主演女優賞を受賞。

7月18日(木)19:00/7月21日(日)13:00

旅人は休まない

1987年 カラー 104分
監督：イ・チャンホ



亡き妻の遺骨を北の故郷に送ろうと当てもなく旅立つ男は、妻とそっくりな女に出会う。南北分断の悲劇をシュールな映像で描いた傑作。東京国際映画祭国際批評家賞。

7月19日(金)14:00/7月20日(土)15:30

黄真伊(ファン・ジニ)

1986年 カラー 125分
監督：ペ・チャンホ



李朝時代の伝説の美女黄真伊(ファン・ジニ)を描く史劇。ニューシネマの騎手ペ・チャンホがこれまでの技法を捨て去り、全く新しいスタイルに挑んだ作品。

7月19日(金)16:30/7月24日(水)19:00

ハラギヤティ

1989年 カラー 125分
監督：イム・グォンテク



題名は般若心経の一部。薄幸の少女スンニョは、仏門と世俗を行き来しながら、苦難の人生を歩む。スンニョを演じた姜受延はモスクワ映画祭で主演女優賞を受賞。

7月20日(土)10:30/7月24日(水)14:00

鯨とリーコレサニヤン

1984年 カラー 112分
監督：ペ・チャンホ



公開当時、韓国の若者を笑いと涙で包んだ青春映画の傑作。二人の若者と失語症の娘が繰り広げるロマンティックである。映評賞最優秀作品・監督賞。

7月20日(土)13:00/7月25日(木)14:00

赤道の花

1983年 カラー 100分
監督：ペ・チャンホ



定職を持たないインテリ青年が、向いのアパートに越してきた美しい女に恋をする。女は金持ちに囲われた愛人であった。ヒッチコックの「裏窓」を思わせるサスペンス映画。

7月21日(日)10:30

宴婦の舞

1983年 カラー 108分
監督：イ・チャンホ



イ・ボヒ演じるマルクスは男たちに次々に騙され、社会の底辺をさまよう。二重の結婚相談所、質屋、無意味な警官、新興宗教などが3部構成で断片的に描かれた異色作である。

7月21日(日)15:30

一松亭の青松は

1983年 カラー 130分
監督：イ・チャンホ



1920年に起きた日本軍に対する独立運動、青山黒龍戦争を描いたイ・チャンホ初の戦争映画。陸軍の協力を得て3万人のエキストラを使った大作である。百想芸術大賞脚本賞。

7月25日(木)16:30/7月28日(日)13:00

神さまこんにちは

1987年 カラー 110分
監督：ペ・チャンホ



脳性マヒのピョンテと詩人と狂婦の3人組の珍道中を描いた悲喜劇。84年の「鯨とリー」の続編ともいえるが、ここではさらに人間の生き方そのものを深く問いただしている。特に障害者を演じる姜受延の演技は絶妙。

7月26日(金)14:00/7月27日(土)16:30

達磨はなぜ東へ行ったのか

1989年 カラー 137分
監督・脚本：ペ・ヨンギョン



8年の歳月をかけて、ほとんど1人で完成させたこの作品はロカルノ映画祭で5つの賞を得たこともあって世界的な話題となった。山寺の三人の僧の生き方を美しい自然の中で描いた映像詩である。

7月26日(金)19:00

馬鹿宣言

1983年 カラー 97分
監督：イ・チャンホ



経済発展を遂げるソウルを舞台に、二人の貧乏な若者と結婚の放浪を描いた悲喜劇。ベルリン映画祭、シカゴ映画祭、アジア太平洋映画祭などで受賞。

7月27日(土)14:00

霧の村

1982年 カラー 91分
監督：イム・グォンテク



都会から若い女教師が山村に赴任してくる。そこで彼女が目にしたのは、奇妙な男ケチュルを中心とした歪んだ男女関係だった。大韓賞主演女優・撮影賞

7月27日(土)19:00

川の流れは止められない

1984年 カラー 120分
監督：イム・グォンテク



三百年前にハングルで書かれて、最近発見されたという作者不詳の小説を映画化。封建社会の中でこの世で結ばれない男女が、死を遁ぐことで恋愛を成就させるという典型的なメロドラマである。

7月28日(日)15:30

低きところに臨みたまえ

1981年 カラー 102分
監督：イ・チャンホ



牧師の息子ヨハンは幸福そのものだったが、突然の失明によって、社会からはじきだされる。そのヨハンが真の信仰にたどりつくまでを、キリスト教徒であるイ・チャンホは真摯に描いている。

シンポジウム

「韓国映画、黄金の80年代」

7月14日 14:15 入場無料

佐藤忠男(映画評論家・司会)

イム・グォンテク

林権澤(映画監督)

イ・チャンホ

李長鎬(映画監督)

ペ・チャンホ

裊昶浩(映画監督) (予定)

弁士付特別上映「韓国のサイレント映画と活動弁士の世界」

会 期：1996年7月16日(火)14:00/19:00(2回公演)

観 覧 料：当日1000円 韓国映画祭前売り(800円)でもご入場できます。

主 催：国際交流基金アジアセンター 福岡市総合図書館 朝日新聞社

上映作品：弁士付き特別上映 韓国弁士 申出(シン・チュル)

「検事と女先生」1948年 45分 白黒 サイレント

監督 ユン・テリョン 出演 イ・ヨンエ

同時上映

「自由万歳」1946年 51分 白黒 トーキー

監督 チェ・インギョ 出演 ユ・ケソン/チョン・チャングン



映像ホールスケジュール

月	日	曜日	内 容	
6	29	土	羅生門 14:00	李蓮英・清朝最後の宦官 19:00
	30	日	希望の行方 11:00	鉄腕投手・稲尾物語 15:00
7	1	月	休館日	
	2	火	無法松の一生 14:00	上海假期 19:00
	3	水	十字路 14:00	地獄門 19:00
	4	木	殺陣師段平 14:00	サイクリスト 19:00
	5	金	ブアンとベーン 14:00	王将 19:00
	6	土	東京物語 14:00	北京オペラブルース 19:00
	7	日	博多商人の栄華展記念公演会 13:30	
	8	月	休館日	
	9	火	上映なし	
	10	水	おせっかいはNO要はOK 14:00	幕末太陽伝 19:00
	11	木	飢餓海峡 14:00	ウェディングバンケット 19:00
	12	金	女神 14:00	蒲田行進曲 19:00
	13	土	風吹く良き日 14:00	キルソドム 16:30 ディーブ・ブルーナイト 19:00
	14	日	曼陀羅 12:00	「シンボジウム」14:15
	15	月	休館日	

月	日	曜日	内 容		
7	16	火	弁士付き特別上映 14:00	弁士付き特別上映 19:00	
	17	水	アダダ 14:00	キルソドム 16:30	シバジ 19:00
	18	木	高野悦子講演会 13:00	旅人は休まない 19:00	
	19	金	黄真伊 (ファン・ジニ) 14:00	ハラギャティ 16:30	曼陀羅 19:00
	20	土	鯨とリーコレサニヤン 10:30	赤道の花 13:00	黄真伊 (ファン・ジニ) 15:30
	21	日	宴婦の舞 10:30	旅人は休まない 13:00	一松亭の青松は 15:30
	22	月	休館日		
	23	火	上映なし		
	24	水	鯨とリーコレサニヤン 14:00	シバジ 16:30	ハラギャティ 19:00
	25	木	赤道の花 14:00	神様こんにちは 16:30	ディーブ・ブルーナイト 19:00
	26	金	達磨はなぜ東へ行ったのか 14:00	風吹く良き日 16:30	馬鹿宣言 19:00
	27	土	霧の村 14:00	達磨はなぜ東へ行ったのか 16:30	川の流れば止められない 19:00
	28	日	アダダ 10:30	神様こんにちは 13:00	低きところに臨みたまえ 15:30
	29	月	休館日		
	30	火	上映なし		
	31	水	月末休館日		

※満席の場合、入場をご遠慮いただく場合がございますのでご了承下さい。

その他の企画

古文書に見る博多商人の栄華展

博多商人関係古文書約30点をはじめ、その画像（ポートレイトを含む）、物質資料等約60点を展示して、博多商人象を概観する。

- 会 期：6月29日（土）～7月28日（日）
- 会 場：福岡市総合図書館ギャラリー

博多商人の栄華展 記念講演会

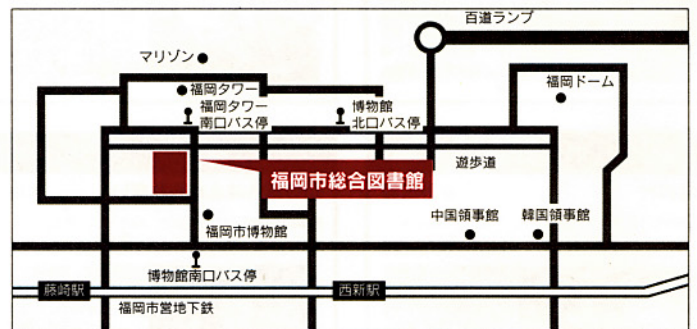
- 会 期：7月7日（日）
- 会 場：福岡市総合図書館映像ホール
- 観覧料：無料

13時30分～ 講演 川添昭二
（九州大学名誉教授）
15時～ 講演 武野要子
（福岡大学教授）

絵本原画展「スズキコージの世界」

スズキコージ氏の絵本原画を展示。

- 会 期：7月23日（火）～9月1日（日）
- 会 場：福岡市総合図書館エントランスホール



交通機関

地下鉄西新駅および藤崎駅より徒歩15分
西鉄バス博物館南口および福岡タワー南口バス停留所より1分
都市高速百道ランプより車で2分

Fukuoka City Public Library Movie Hall

福岡市総合図書館映像ホール

福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

●お問い合わせは

☎ (092) 852-0600